

受容体特異的画像化技術を基盤とするがん放射線内用療法
(radio-theranostics) 研究拠点の形成

第3回公開シンポジウム Web開催

配信日時：2022年3月11日(金)13時～ 3月31日(木)17時

開催形式：講演はWebオンデマンド配信、質問および回答はテキスト形式

配信方式：YouTubeチャンネル

事前申込方法 下記URLまたはQRコードからお申し込みください
接続アドレスをメールでお知らせします。
<https://forms.office.com/r/cHjzz6EnJ2>



開会の辞 京都薬科大学 副学長 赤路 健一

招待講演

① 「Synthesis of bone-targeting peptide hormone analogues and in-vivo pharmacodynamic evaluation using micro-computed tomography」

Dr. Michael R. Doschak, MSc, PhD / Professor and Assistant Dean,
International
(University of Alberta, Edmonton, Alberta, Canada)

② 「セラノスティックスと核医学治療・標的アイソトープ治療
—国内の現状と展望—」

東 達也 分子イメージング診断治療研究部 部長
(量子科学技術研究開発機構 量子医科学研究所)

学内研究紹介

① 「イメージング技術で繋ぐ京都薬科大学での共同研究」
高田 和幸 (京都薬科大学 統合薬科学系)

② 「セリン修飾を用いた新規腎臓ターゲティング型ドラッグ
デリバリーシステムの開発とその腎臓疾患治療ならびに
セラノスティクスへの展開」

勝見 英正 (京都薬科大学 薬剤学分野)

閉会の辞 京都薬科大学 研究科長 齋藤 博幸



連絡・問い合わせ先：〒607-8414 京都市山科区御陵中内町5

京都薬科大学 代謝分析学分野 木村 寛之・事務担当 前田 貴代

TEL:075-595-4681 E-mail : research-brand-prj@mb.kyoto-phu.ac.jp